

取扱説明書

8インチディスプレイオーディオ
AVH-SZ600ZS

目次 (→ P5)

はじめに

基本操作と初期設定

アプリを使う

電話を使う

ラジオ / 交通情報を聴く

外部機器を使用する

バージョンアップする

各種設定

接続

付録

安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに及ぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意(警告を含む)しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止(やってはいけないこと)の内容です。	

AV2-v3.4

接続・取り付け

警告



禁止

本機の前面や通風口を塞いだり、紙やフロアマット、布で覆わない
放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。



禁止

DC24V車では使用しない

本機はDC12V⊖アース車専用です。
DC24V車で使用すると火災や故障の原因になります。



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因になります。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。



禁止

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

車両メーカーが指定する禁止エリアや車両の操作を妨げる位置に、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

適合車種以外には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。適合車種については、販売店にお問い合わせください。



強制

エアバッグの動作を妨げないように、取り付け位置や角度の調整を行う

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因になります。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取付・取外し・配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線、取り外しを行うと、車に支障をきたす場合があります。
また、お客様ご自身による取付・配線はケガの原因となりますので、販売店などにご依頼ください。

説明書に従って接続・取り付ける

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類はしっかりと固定する

コードを固定する付属部品または市販部品を使用してください。ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと、運転操作を妨げ事故の原因となります。また、乳幼児の首などに巻きつく危険があります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す
＋－経路のショートにより、火災、感電やケガの原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉しないように取り付ける

穴あけドリル等がパイプ類、タンク、電気配線などと干渉すると、火災、故障の原因となります。

付属の部品を使用し、固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。



強制

取り付け場所の汚れ(ごみ、ほこり、油)などを取り除き、しっかりと取り付ける

走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。

モニター(タブレット)はハザードボタンやエアコン等のコントロールスイッチの操作、警告ランプや各種インジケータの視認を妨げないように取り付ける

走行中の操作やランプの視認に支障があると交通事故の原因となります。

⚠ 注意



禁止

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない

製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない

熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けけない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

本機を不安定なところに取り付けけない

落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

コード類の配線は、車体の高温部・金属部・可動部に接触させない

断線やショートによる火災や感電の原因となります。



禁止

水のかかるところや結露、ほこり、油煙の多いところに取り付けけない

発煙や発火、故障の原因となります。



強制

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水が侵入しないように配線する

雨水が車内に侵入すると、火災や感電の原因となります。

使用方法

警告



禁止

画面だけを見ながらの運転はしない
必ず目視による安全確認を行いながら運転してください。距離感の違いとカメラの死角により人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

大きな音量で使用しない

警告音など車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

ネジやUIMカードなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

液体で濡らさない

発煙、発火、感電の原因となります。



分解禁止

分解や改造、修理をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。コードを切断したり、被覆を切って他の機器の電源をとるのは絶対におやめください。アースコードの改造や、他の機器のアースコードと途中で接続することは絶対におやめください。



禁止

ぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない

ケガや車両の変形および故障の原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する

ルート案内が実際の交通規制に反している場合があり、交通事故の原因となります。

ヒューズを交換するときは、規定容量（アンペア）のヒューズを使用し、専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。ヒューズ交換は販売店などに依頼してください。

夜間、トンネルなど暗い場所で使用する場合、製品の明るさは運転に支障のないように適切に調整する

事故の原因となります。

注意



禁止

本機は自動車用途以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となります。



接触禁止

スピーカーやアンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となります。



禁止

本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

可動部やメディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。どのような操作、タイミングで発生したのかなど、詳細情報を販売店かサービス相談窓口にお伝えください。

目次

本書の取り扱いと見かた.....7

- 本書の記載について.....7
- 本書の見かた.....7
- ユーザーズガイドについて.....7

はじめに.....8

- 安全走行のために.....8
- バッテリー上がりを防ぐために.....8
- 液晶画面の正しい使いかた.....8
- 電波に関するご注意.....9

E-callモード.....10

- E-call モードの動作について.....10

各部の名称とはたらき.....11

- 本体.....11
- ハンズフリー通話用マイク.....11
- ホーム画面.....12

電源の入れかた.....14

- 本機の電源について.....14
- 初めて電源を入れるとき.....14

Bluetooth® の設定と接続... 16

- 対応する Bluetooth プロファイル... 16
- Bluetooth 機器を登録／接続する... 16
- 登録機器を削除する.....17
- Bluetooth の設定をする.....18
- Bluetooth 機器を切りかえる.....18

Wi-Fi® の設定.....19

Apple CarPlayを利用する... 20

- iPhone の接続.....20
- 運転席位置の設定.....21
- 音量調節.....21
- ショートカットの利用.....21

Android Auto™ を利用する... 22

- スマートフォンの接続.....22
- 音量調節.....23
- Android Auto の自動起動設定.....23

本機でiPhone／スマートフォン を操作する(WebLink®).....24

電話を使う (ハンズフリー通話).....25

ラジオ/交通情報を受信する... 26

- ラジオ.....26
- 交通情報 (TI).....26

外部機器を使用して できること.....27

- Bluetooth 接続機器内の音楽再生... 27
- USB 機器内の音楽／動画／
静止画再生.....27
- AUX(外部入力) を使った
映像／音声再生.....27
- バックアイカメラ／2nd カメラ
の映像表示.....28
- HDMI® 出力機器の映像／音声再生... 28

本機のファームウェアを バージョンアップする.....29

- 本機のファームウェアのバージョン... 29
- 本機のファームウェアを更新する.... 29

各種設定をする 30

設定画面の表示..... 30

ステアリングオーディオスイッチ
の設定 31

接続 34

USB 接続ケーブルなどの取扱い方法..... 34

iPhone / スマートフォンの接続..... 35

本機が対応する iPhone について.... 37

USB 機器について..... 38

再生可能なメディアと

ファイルについて 39

商標・著作権など 42

索引 43

本体リセットのしかた 46

故障かな？と思ったら 47

こんなメッセージが

表示されたら 50

保証書とアフターサービス ... 52

仕様 53

ソフトウェア利用約款 57

お客様登録のお願い 59

本書の取り扱いと見かた

お買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

本書の記載について

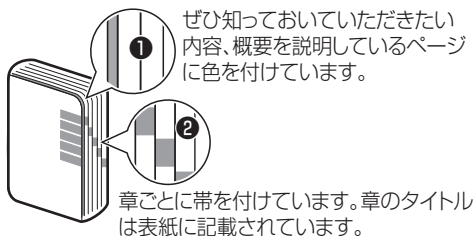
- 本書では便宜上、Android™ OS 搭載の端末を「スマートフォン」と表記しています。
- 本書では便宜上、Mass Storage Class で接続されている USB メモリーなどを「USB メモリー」と表記し、特に制限しない場合は「USB」または「USB 機器」と表記しています。
- 本書では「アプリケーションソフトウェア」を「アプリ」と表記しています。

ご注意

- 本書に掲載しているイラストや画面例、寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。
- 実際の製品の画面や仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

本書の見かた

本書側面



操作手順

1、2、3・・・

番号の順に操作すると、目的の機能を使うことができます。

参照

「○○○○○」(→PXX) または (→PXX)

参照していただきたい箇所を表記しています。

注意

ご注意

・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

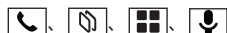
機能を使う際の注意事項を表記しています。

補足

・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

操作手順の補足情報を表記しています。

本体のボタン



本機の下側のボタンを示しています。

画面のアイコン



画面に表示されるタッチキーを示しています。

画面の文字列

ラジオ設定、時刻設定、テーマ設定など

タッチすることができる画面の文字列を示しています。

ユーザーズガイドについて

より詳しい操作方法または新機能・変更点は、下記の2次元コードより、ユーザーズガイドをご覧ください。

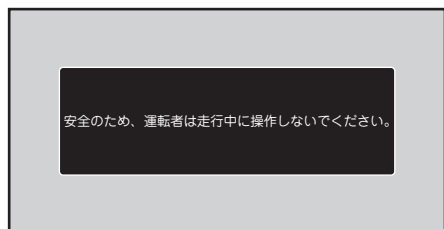


はじめに

安全走行のために

パーキングブレーキの ON / OFF、および車速を検知し、走行中に映像を見ることができないようになっています。

走行中は次のような画面が表示されます。



メッセージは、安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけると解除されます。

本機の操作は、安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- ・市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障があることがあります。
- ・直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障するおそれがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- ・液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障するおそれがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- ・キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

液晶画面について

- ・携帯電話を液晶画面に近づけて使用したときに、斑点や色の縞模様などの形で映像が乱れる場合、携帯電話の位置を変更してください。
- ・液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。
- ・周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

LED バックライトについて

- ・LED バックライトの寿命は 1 万時間以上です。高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- ・LED バックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

お手入れについて

- ・液晶画面に付いたホコリや汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- ・液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。液晶画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- ・濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - 分解／改造すること。
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHz、5 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼす場合があります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
 - 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音声がとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、声かとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - 火災報知機・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、コンピューターなど）
 - 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - 自動ドア・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
 - 自動制御機器・その他、無線対応機器やVICS（道路交通網システム）
 - アマチュア無線局など

E-call モード

本機に搭載されている E-call モードは、以下のように動作します。

E-call モードの動作について

車両側の緊急通報装置が作動した場合に、緊急通報装置と連動し、本機は E-call モードに切りかわります。

E-call モードに切りかわると画面に「SOS」と表示し、AV ソースをオフにします。

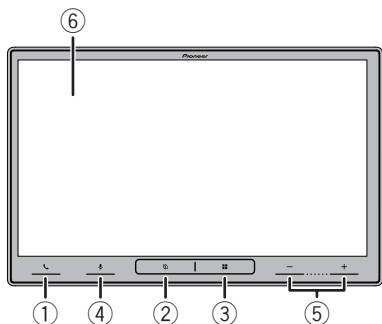


SOS

- E-call モードが動作している間は、本機のボタンを押しても操作できません。
- E-call モードが解除されると、ソースがオフの状態で復帰します。

各部の名称とはたらき

本体



①

- iPhone / スマートフォンが Bluetooth で接続されていないときにタッチすると、Bluetooth 接続画面を表示します。
- iPhone / スマートフォンで Apple CarPlay または Android Auto を起動しているときは、起動している Apple CarPlay または Android Auto の Phone 画面を表示します。Apple CarPlay または Android Auto を起動していないときにタッチすると、Bluetooth 接続している機器の通話履歴画面を表示します。

②

- Apple CarPlay または Android Auto が起動しているときにタッチすると、Apple CarPlay または Android Auto で最後に表示していた画面を表示します。
- Apple CarPlay または Android Auto が起動していないときにタッチすると、Bluetooth 接続可能な機器を検索して表示します。

③

ホーム画面を表示します。
長く押すと、交通情報 (TI) を受信します。もう一度長く押すと、交通情報 (TI) が OFF になります。

④

音声認識対応端末が Bluetooth または USB 経由で本機に接続されているときに押すと、音声認識操作ができます。
長く押すと、Bluetooth 接続可能な機器を検索して表示します。

⑤ + / - (音量) ボタン

音量を調節します。画面上に表示される / でも音量を操作できます。
長押しすることでも音量調整できますが、+ ボタンの長押しは一定の大きさに止まります。

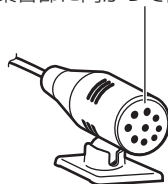
⑥ 画面

液晶画面です。各ソースや設定の画面が表示されます。画面上でタッチ、スワイプ、ドラッグなどの操作ができます。

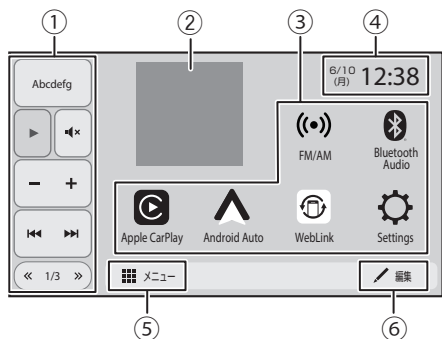
ハンズフリー通話用マイク

集音部

ハンズフリー通話をするときは集音部に向かって話します。



ホーム画面



① ショートカット

よく使う機能はショートカットから操作できます。

② アートワーク表示

現在選択しているソース／アプリのアートワークを表示します（可能な場合）。

③ お気に入りソース／アプリエリア

タッチすると、選択したソース／アプリリスト画面を表示します。

よく使うソース／アプリのアイコンを配置すると便利です。表示させたいソース／アプリはお好みで変更できます。

④ 時計

時刻の設定画面を表示します。

⑤ メニュー

ソース／アプリリスト画面を表示します。

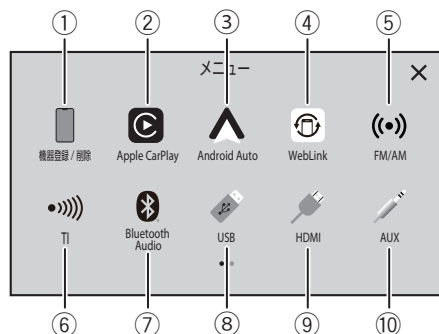
⑥ 編集

ホーム画面のカスタマイズやお気に入りソース／アプリエリアのアイコン変更ができます。

・ iPhone / スマートフォンとの再接続に失敗した場合のみ、ホーム画面下部に「再接続」が表示されます。タッチすると iPhone / スマートフォンへの再接続を行います。

ソース／アプリリスト画面

画面を左にスワイプすると、隠れているソースアイコンが表示されます。



① 機器登録 / 削除

Bluetooth の機器登録／削除画面を表示します。

② Apple CarPlay

Apple CarPlay 画面を表示します。

③ Android Auto

Android Auto 画面を表示します。

④ WebLink

WebLink[®] 画面を表示します。

⑤ FM/AM

ラジオ（FM/AM）画面を表示します。

⑥ TI

交通情報（TI）画面を表示します。

⑦ Bluetooth Audio

Bluetooth Audio 画面を表示します。

⑧ USB

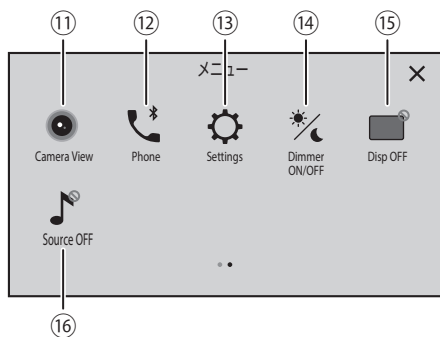
USB 画面を表示します。

⑨ HDMI

HDMI 画面を表示します。

⑩ AUX

AUX 画面を表示します。



- ⑪ **Camera View**
バックアイカメラ／2nd カメラ画面を表示します。
- ⑫ **Phone**
Phone メニュー画面を表示します。
- ⑬ **Settings**
設定画面を表示します。
- ⑭ **Dimmer ON/OFF**
画面の明るさ（昼／夜）を切りかえます。
- ⑮ **Disp OFF**
画面を消します。
- ⑯ **Source OFF**
ソースをオフにします。

電源の入れかた

本機の電源について

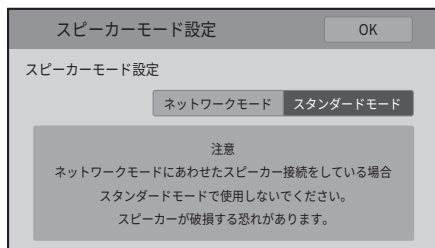
本機に電源ボタンはありません。車のエンジンスイッチを ON (ACC を ON) にすると自動的に電源が入り、エンジンスイッチを OFF にすると切れます。

初めて電源を入れるとき

本機の電源を初めて入れると起動画面が数秒間表示され、初期起動時の設定画面が表示されます。

スピーカーモードを設定する

車の現在のスピーカー配置と接続方法に合わせてスピーカーモード (スタンダードモード/ネットワークモード) を選択し、OK をタッチします。

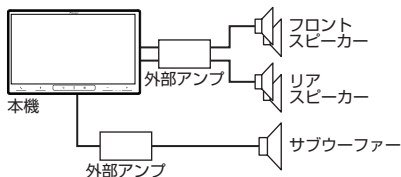
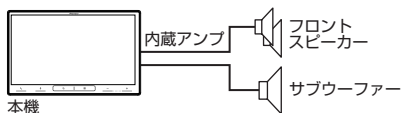
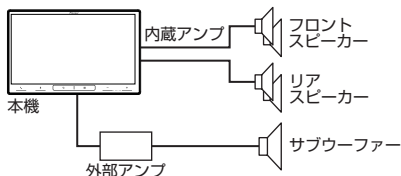
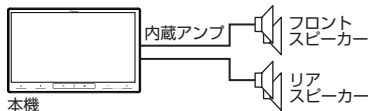


通常はスタンダードモードを選択してください。下記の「ネットワークモードシステム例」のようなスピーカーを接続した場合のみネットワークモードを選択してください。

- ・フロント側のスピーカーがウーファーとツイーターに分かれていても、両方が本機のフロントスピーカー出力に結線されている場合は**スタンダードモード**を選択してください。

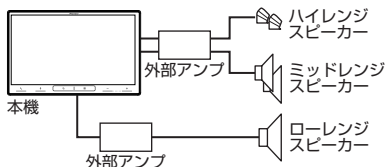
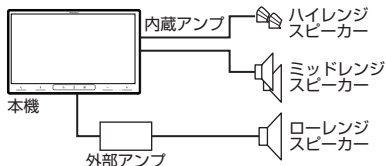
スタンダードモードシステム例

フロント・リアの4スピーカーシステム、フロント・リア・サブウーファースの5スピーカーシステム、またはフロント・サブウーファースの3スピーカーシステムを構築している場合。



ネットワークモードシステム例

高・中・低音域のそれぞれの音域 (バンド) を専用のアンプとスピーカーで再生する 3-way マルチアンプ・マルチスピーカーシステムを構築している場合。



- スピーカーモード設定の設定完了後、スピーカーモード設定を再度表示するには、工場出荷時に戻す必要があります。実際の車のスピーカー構成などを変更してスピーカーモードを変更する必要があるときは初期化を実施して最初からやり直してください。

ご注意

- 初期化によって一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は事前に控えておいてください。

免責事項の確認

画面に表示された内容を確認の上、**OK** をタッチします。

Bluetooth® の設定と接続

ハンズフリー機能や Bluetooth Audio 機能を利用するには、機器を本機に Bluetooth 接続します。

対応する Bluetooth プロファイル

本機のプロファイルは仕様 (→ P53) を参照してください。

Bluetooth 機器を登録／接続する

- 一度接続が完了した Bluetooth 機器は本機に登録され、次回起動時にもリストに表示されます。
- 本機は 5 台まで Bluetooth 機器に登録できます。
- すでに 5 台登録している場合は、登録済みの Bluetooth 機器を削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。削除する場合は **はい** をタッチしてください。他の Bluetooth 機器を削除する場合は **機器一覧** をタッチして一覧から削除してください。
- 登録した 5 台のうち、電話機能として同時に 2 台の Bluetooth 機器を接続できますが、Bluetooth Audio 機器として接続できるのは常に 1 台です。

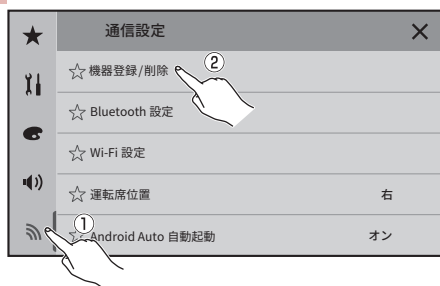
1 Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 Bluetooth 機器を操作して Bluetooth 機器一覧画面を表示する

3 [設定] をタッチする

4 [設定] にタッチする

5 [機器登録／削除] の順にタッチする



リスト画面が表示されます。

リスト画面に接続したい Bluetooth 機器がすでに表示されている場合は、手順 7 に進みます。

6 [検索] にタッチする

周辺の Bluetooth 機器を自動的に探します。Bluetooth 機器が見つかったら、リストを表示します。

7 登録したい Bluetooth 機器名にタッチする

8 Bluetooth 機器を操作してペアリングを許可する

- スマートフォンをお使いの場合は、電話帳へのアクセス許可を求めるメッセージがステータスバーにのみ表示されることがあります。その場合は、ステータスバーを下にドラッグして、通知パネルを表示して操作してください。

9 はいにタッチする

ペアリングが完了します。

ペアリングが完了すると、自動的に本機と Bluetooth 機器との接続が開始されます。

Bluetooth 接続完了まで 80 秒程度かかります。

- Bluetooth 接続ができないときは、「故障かな? と思ったら」(→ P47) をご確認ください。
- 本機は Bluetooth 接続でハンズフリー通話の電話機を 2 台まで同時に接続できます。
- 2 台の Bluetooth 機器がすでに HFP により接続されているときに、新たに接続しようとしている機器が HFP 接続機器だった場合は、最初に接続した HFP 接続対応機器を切断して、新たな機器を接続します。
- HFP (Hands Free Profile の略) とは、ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- Bluetooth 接続や Android Auto の接続ができないときは、Bluetooth 機器の Bluetooth 接続履歴から本機の名称を削除し、本機の Bluetooth 機器リストからも接続したい Bluetooth 機器の名称を削除して、もう一度 Bluetooth 機器の登録/接続を試してください。

2 台の機器を HFP 接続中のときの Bluetooth Audio 機器の接続

HFP 接続対応機器 2 台の HFP 接続を維持したまま、3 台目を Bluetooth Audio 機器として接続したい場合は、AV ソース画面で機器切りかえをするか、Bluetooth 機器側から接続してください。

登録機器を削除する

1 [設定] をタッチする

2 [Bluetooth] にタッチする

3 [Bluetooth]、機器登録/削除の順にタッチする



基本操作と初期設定

4 [削除] にタッチする

5 削除したい Bluetooth 機器名の左側にある [] (チェックボックス) にタッチする

6 [完了] にタッチする

7 はいにタッチする

リスト画面から Bluetooth 機器名が削除されます。

8 [完了] にタッチする

設定が終了します。

Bluetooth の設定をする

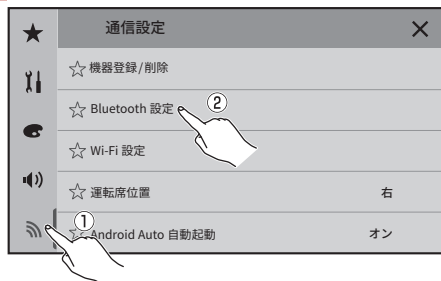
ご注意

- パーキングブレーキが解除されている場合は操作できません。安全な場所に車を停めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

1  をタッチする

2  にタッチする

3 、Bluetooth 設定の順にタッチする



Bluetooth 設定画面が表示されます。
各設定内容の詳細は、下記の2次元コードより、
ユーザーズガイドをご覧ください。



4  にタッチする

設定が終了します。

Bluetooth 機器を切りかえる

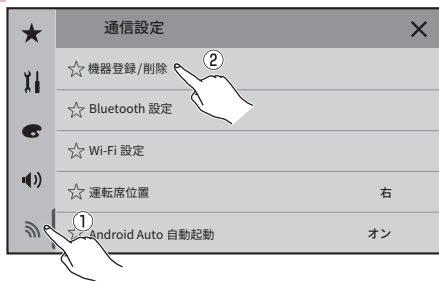
Bluetooth 機器を複数台登録した場合、切りかえて使用できます。

1 Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2  をタッチする

3  にタッチする

4 、機器登録／削除の順にタッチする



5 切りかえたい Bluetooth 機器名のと
なりにある  にタッチする

選択した Bluetooth 機器への接続を行います。

Wi-Fi® の設定

Apple CarPlay や Android Auto などの機能を使用するために設定します。

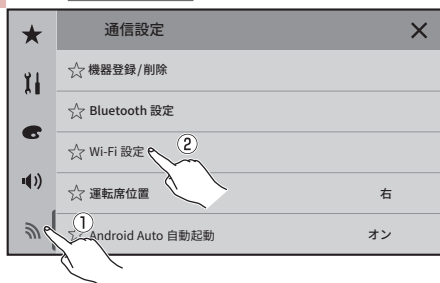
ご注意

- Wi-Fi で使用時の通信料は、お客様のご負担となります。
- スマートフォンを接続する場合、スマートフォン側の通信を使用するため、スマートフォンの通信料がお客様のご負担となります。

1 [Wi-Fi] をタッチする

2 [設定] にタッチする

3 [Wi-Fi 設定] の順にタッチする



5 [完了] にタッチする

設定が終了します。

ご注意

- パーキングブレーキが解除されている場合、一部機能は操作できません。安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

4 アクセスポイントにタッチする

タッチするごとに、オン⇄オフが切りかわります。

オン	アクセスポイントが有効になります。
オフ	アクセスポイントが無効になります。

オフに設定しても、次回起動時にはオンに戻ります。

他の設定内容の詳細は、下記の 2 次元コードより、ユーザーズガイドをご覧ください。



Apple CarPlay を利用する

本機に接続した iPhone のアプリを本機の画面に表示してタッチ、スワイプ、ドラッグなどで操作できます。Siri による音声認識で操作することもできます。

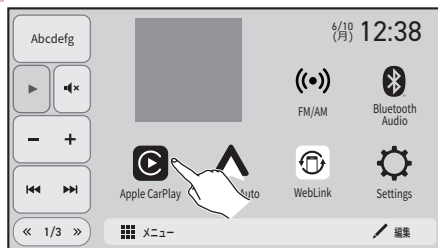
Apple CarPlay で本機から操作できるのは Apple CarPlay に対応しているアプリケーションだけです。

- iPhone やアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Apple CarPlay に対応している iPhone については、以下を確認してください。
<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>
- Apple CarPlay についての詳細は、Apple CarPlay サポートサイトをご確認ください。
- Apple CarPlay 利用時には、WebLink®が終了していることを確認してください。
- Apple CarPlay による道案内情報の精度は、アプリに依存します。
- Apple CarPlay は Apple Inc. が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更する場合があります。

iPhone の接続

USB で接続する

- 1 本機に iPhone を USB で接続する
「iPhone を USB 接続する場合」(→ P35)
- 2  をタッチする
- 3 Apple CarPlay にタッチする



Apple CarPlay の画面が表示されます。

- Apple CarPlay の接続が完了すると、 をタッチして Siri 機能を使用することができます。

ワイヤレスで接続する

- 1 本機のアクセスポイントをオンにする
「Wi-Fi® の設定」(→ P19)
- 2 iPhone の Wi-Fi 機能と Bluetooth 機能をオンにする
- 3 本機と iPhone を Bluetooth で接続する
「Bluetooth® の設定と接続」(→ P16)
- 4 Apple CarPlay を利用するかどうかのメッセージが表示されたら **はい** にタッチする

本機と iPhone が自動的に Wi-Fi 接続され Apple CarPlay の画面が表示されます。

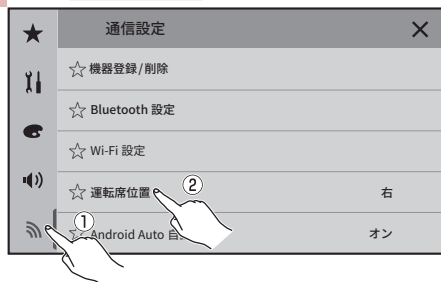
- Apple CarPlay の接続が完了すると、 をタッチして Siri 機能を使用することができます。
- 本機が Bluetooth で接続されていたときは、Apple CarPlay の接続が完了すると Bluetooth 接続は終了します。
- Android などの別の端末と本機が Bluetooth で接続されているときは、Apple CarPlay の接続が完了すると Bluetooth オーディオ接続のみが継続されます。

運転席位置の設定

1 [設定] をタッチする

2 [設定] にタッチする

3 [設定]、運転席位置の順にタッチする



タッチすることにより、右⇄左が切りかわります。

右 右ハンドル車の場合に選択します。

左 左ハンドル車の場合に選択します。

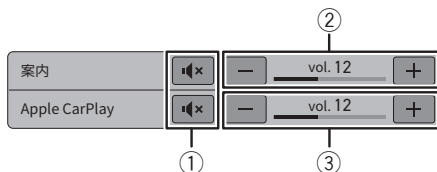
- 運転席位置の設定によって、ホーム画面のショートカットの位置が左右に切りかわります。
- 設定した内容は、次回 Apple CarPlay 起動時に適用されます。

音量調節

Apple CarPlay を使用している場合は、メインの音量とは別に、Siri（接続した iPhone で利用可能な場合）またはガイド音量を調節できます。

1 Apple CarPlay 画面を表示中に、+ / -（音量）ボタンを押す

音量設定メニューが 4 秒間表示されます。



① [ミュート]

ガイド音声／メイン音声をミュートします。

② + / -

ガイド音声の音量を調節します。

③ + / -

メイン音声の音量を調節します。

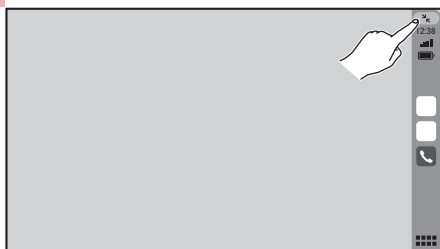
- 音量設定メニューの表示が消えたときは、+ / -（音量）ボタンを押すと再度表示されます。
- メイン音声の音量は+ / -（音量）ボタンを押して調節することもできます。
- Siri を使用している場合、ミュート機能は使用できません。

ショートカットの利用

Apple CarPlay と連携することで表示される画面と他のソース画面を分割で表示できます。

Apple CarPlay の地図画面を表示しながら、ラジオを操作したい場合などに便利です。

1 Apple CarPlay 画面を表示中に、[分割] にタッチする



分割画面表示に切りかわります。

全画面に戻したい場合は [全画面] にタッチしてください。

- iPhone や iOS のバージョンによっては、利用できない可能性があります。
- Apple CarPlay と本機の画面位置は、「運転席位置の設定」（→ P21）で設定した内容によって異なります。

Android Auto™ を利用する

本機に接続した Android Auto 対応スマートフォンのアプリを本機の画面に表示してタッチ、スワイプ、ドラッグなどで操作できます。Google アシスタント による音声認識で操作することもできます。

Android 11.0 以降のスマートフォンをお使いください。

- ・スマートフォンやアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- ・車のディスプレイで Android Auto をワイヤレスで使用するには、互換性のある Android スマートフォンとデータ通信契約が必要です。互換性のあるスマートフォンは g.co/androidauto/requirements で確認してください。
- ・Android Auto についての詳細は、Android Auto サポートサイトをご確認ください。
- ・Android Auto による道案内情報の精度は、アプリに依存します。
- ・Android Auto は Google Inc. が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更する場合があります。

スマートフォンの接続

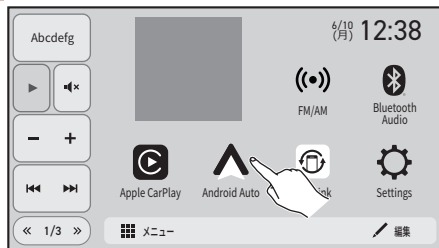
USB で接続する

1 本機にスマートフォンを USB で接続する

「スマートフォンを USB 接続する場合」(→ P36)

2 をタッチする

3 Android Auto にタッチする



Android Auto の画面が表示されます。

- ・Android Auto の接続が完了後、 をタッチすると音声認識を使用できます。

ワイヤレスで接続する

1 本機のアクセスポイントをオンにする 「Wi-Fi® の設定」(→ P19)

2 スマートフォンの Wi-Fi 機能と Bluetooth 機能をオンにする

3 本機とスマートフォンを Bluetooth で接続する

「Bluetooth® の設定と接続」(→ P16)

4 Android Auto を利用するかどうかのメッセージが表示されたら **はい** にタッチする

本機とスマートフォンが自動的に Wi-Fi 接続され Android Auto の画面が表示されます。

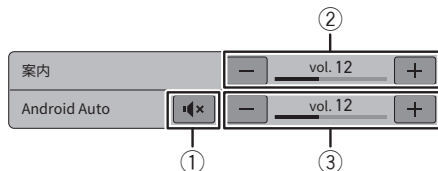
- ・Android Auto の接続完了後、 をタッチすると Google アシスタント 機能を使用できます。
- ・Android Auto の接続が完了すると、A2DP + AVRCP 接続および他のスマートフォンの HFP 接続は切断されます。
- ・一度ワイヤレス接続の設定を行った場合でも、スマートフォンの Bluetooth 機能をオフにすると、ワイヤレスでの再接続ができません。

音量調節

Android Auto を使用している場合は、音楽やラジオ音声などのメインの音量とは別に、音声認識またはガイド音量を調整できます。

1 Android Auto 画面を表示中に、 + / -（音量）ボタンを押す

音量設定メニューが 4 秒間表示されます。



メインの音声をミュートします。



ガイド音声の音量を調節します。



メイン音声の音量を調節します。

- 音量設定メニューの表示が消えたときは、+ / -（音量）ボタンを押すと再度表示されます。
- メイン音声の音量は+ / -（音量）ボタンを押して調節することもできます。

3 、Android Auto 自動起動の順 にタッチする



タッチすることにより、オン⇄オフが切りかわります。

オン	自動起動します。
オフ	自動起動しません。

アプリを使う

Android Auto の自動起動設定

Android Auto を起動したときに、自動的に Android Auto 画面を表示させるかどうかを設定できます。

- Android Auto は、スマートフォンが接続されている場合のみ、自動的に起動します。
- 初めて接続した場合は、Google 認証の画面が表示されます。画面に従って操作してください。

1 をタッチする

2 にタッチする

本機で iPhone / スマートフォンを操作する (WebLink®)

WebLink® とは、Abalta 社の提供する、車載インフォテインメントにスマートフォン・アプリを表示したり、スマートフォンのブラウザをそのまま活用できるようにするテクノロジーです。

接続している iPhone / スマートフォンの画面を本機と連動して表示（ミラーリング）することができます。また、WebLink® 互換のアプリケーションも使用できます。

YouTube™ などの動画を本機の画面で楽しむこともできます。

WebLink® を使用するには、WebLink® Host アプリを iPhone / スマートフォンにインストールする必要があります。WebLink® Host アプリについて詳しくは、以下を確認してください。

<https://helloweblink.com/>

- 最新の OS サポート情報については、HelloWebLink.com をご覧ください。
- DRM など、著作権で保護されたファイルは再生できません。

ご注意

- WebLink® でアクセスしたコンテンツや機能については、アプリやコンテンツの提供者に責任があります。このため、当社では一切の責任を負いかねます。
- 運転中は本機で利用可能なコンテンツと機能が制限されます。
- WebLink® Cast 機能使用時、iPhone のミュージックアプリの音声は出力されません。

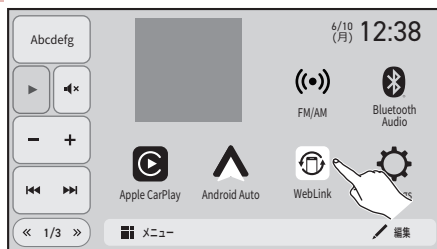
1 iPhone / スマートフォンに WebLink® Host アプリをインストールする

2 iPhone / スマートフォンで WebLink® Host アプリの利用規約に合意する

3 iPhone / スマートフォンを本機に USB で接続する
「iPhone / スマートフォンの接続」(→ P35)

4 [] をタッチする

5 WebLink にタッチする



6 本機の画面で操作する

WebLink® アプリの起動後、アプリのアイコンにタッチすると操作画面が表示されます。WebLink® アプリ内の [] にタッチすると WebLink® ソース画面のメインメニューを表示します。

- 本機から音が聞こえない場合は、「Bluetooth® の設定と接続」(→ P16) をご覧になり、本機との Bluetooth 接続を確認してください。

電話を使う（ハンズフリー通話）

本機は Bluetooth 接続でハンズフリー通話ができます。

あらかじめ本機と機器を Bluetooth 接続してください（→P16）。

iPhone / スマートフォンの場合は、Apple CarPlay または Android Auto を利用したハンズフリー通話が可能です。通話方法は Apple CarPlay または Android Auto のサポートサイトをご確認ください。

- 本機は 5 つまでの機器を Bluetooth 接続の接続先として登録できます。
- 登録した機器のうち、HFP に対応した電話機は同時に 2 台まで接続できます。

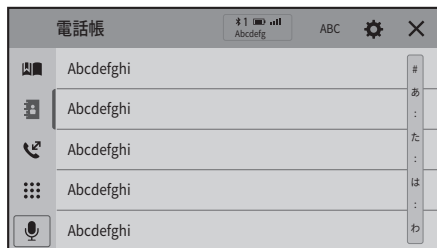
1 [] をタッチする

2 [メニュー] にタッチし、画面を左にスワイプする

3 [] にタッチする



Phone メニューが表示されます。



- 本体の [] をタッチしたときも、同じ画面が表示されます。



プリセットダイヤルから電話をかけます。



電話帳から電話をかけます。



発着信履歴から電話をかけます。



電話番号を入力して電話をかけます。



iPhone の音声認識操作ができます。

詳細は、下記の 2 次元コードより、ユーザーズガイドをご覧ください。



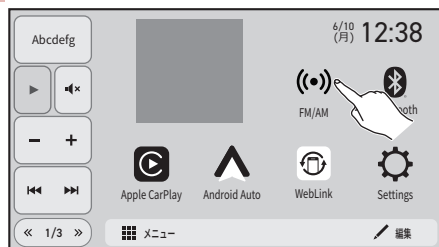
ラジオ / 交通情報を受信する

ラジオ

FM/AM 放送を受信できます。

1 をタッチする

2 FM/AM にタッチする



ラジオ画面が表示されます。

FM、AM それぞれ2つのバンドに切りかえることができます。

受信中の周波数に対して、放送局名を選んで表示させることができます（工場出荷時の状態では放送局名は表示されません）。一度、放送局名を設定した後も別の放送局名に変更できます。

BSM や手動でのプリセットチャンネル登録ができます。

- BSM（Best Stations Memory の略）とは、受信状態の良い放送局を探して、プリセットチャンネルに自動的に登録する機能です。

詳細は、下記の2次元コードより、ユーザーズガイドをご覧ください。



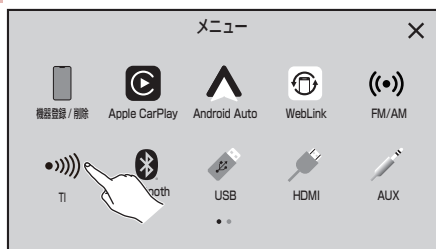
交通情報（TI）

高速道路などで放送されている交通情報（TI）を受信できます。

1 をタッチする

2 メニュー にタッチする

3 TI にタッチする



前回受信した周波数と同じ周波数の交通情報（TI）を受信します。

・受信をやめるときは、 を長くタッチします。

4 / にタッチして、周波数（1620 kHz / 1629 kHz）を切りかえる

5 + / -（音量）ボタンを押して、音量を調節する

交通情報（TI）を受信しているときに音量を調節すると、交通情報（TI）用の音量として設定できます。

外部機器を使用してできること

Bluetooth 接続機器内の音楽再生

AV プロファイルに対応した Bluetooth Audio 機器と本機をワイヤレス接続することで、Bluetooth Audio 機器内の音楽データを本機で再生できます。

- Bluetooth 機器を使うには、接続の設定が必要です。「Bluetooth® の設定と接続」(→ P16)
- 本機では同時に 2 台の Bluetooth 接続を行えますが、Bluetooth Audio 機器としては常に 1 台だけの再生になります。もう一台の機器を再生したい場合は、機器を切りかえてから再生してください。

詳細は、下記の 2 次元コードより、ユーザーズガイドをご覧ください。



AV プロファイルについて

AV プロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

AV プロファイルの種類	音声伝送	選曲操作	特殊再生操作	情報表示
A2DP Ver1.0	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.3	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.4	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.5	○	△	△	△

○：できます。

△：Bluetooth Audio 機器により異なります。

×

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile の略) とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (Audio / Video Remote Control Profile の略) とは、音楽の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。

USB 機器内の音楽／動画／静止画再生

接続した USB 機器に記録されている音楽や動画／静止画を再生できます。USB 機器の接続については「USB 接続ケーブルなどの取扱い方法」(→ P34) をご覧ください。

- 対応メディアやファイルについては「再生可能なメディアとファイルについて」(→ P39) をご覧ください。
- USB ハブを使用している接続には対応していません。
- USB 機器によっては、正しく動作しない場合があります。
- 本機から USB 機器を取り外すときは、車のエンジンスイッチを OFF (ACC OFF) にしてから行ってください。

詳細は、下記の 2 次元コードより、ユーザーズガイドをご覧ください。



AUX (外部入力) を使った映像／音声再生

本機背面の AUX 入力端子に、別売の VTR 入力ケーブル (99000-79X94) を使用して市販のビデオカメラやポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を接続し、映像や音声を再生できます。

詳細は、下記の 2 次元コードより、ユーザーズガイドをご覧ください。



バックアイカメラ／2nd カメラの 映像表示

バックアイカメラ入力または 2nd カメラ入力に
接続されたカメラの映像を表示できます。

ご注意

- 2nd カメラ入力は運転補助以外の目的では利用
しないでください。

詳細は、下記の 2 次元コードより、ユーザーズ
ガイドをご覧ください。



HDMI[®] 出力機器の映像／音声再生

本機背面の HDMI 入力端子に、市販のブルーレ
イディスクプレーヤーなどを接続し、映像や音
声を再生できます。

詳細は、下記の 2 次元コードより、ユーザーズ
ガイドをご覧ください。



本機のファームウェアをバージョンアップする

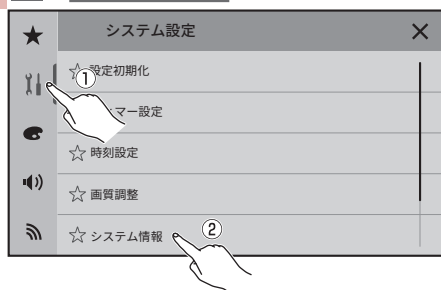
本機のファームウェアのバージョン

本機のファームウェアのバージョンを確認できます。

1  をタッチする

2  にタッチする

3 、**システム情報**の順にタッチする



4 **ファームウェア情報**にタッチする

ファームウェアのバージョンが表示されます。

5  にタッチする

本機のファームウェアを更新する

ファームウェアについての情報や更新についての詳細は、サポートページをご覧ください。
(<https://jpn.pioneer/ja/support/dop/suzuki/>)

USB メモリーを使用して更新する

USB メモリーを接続して、本機のファームウェアのバージョンを更新できます。

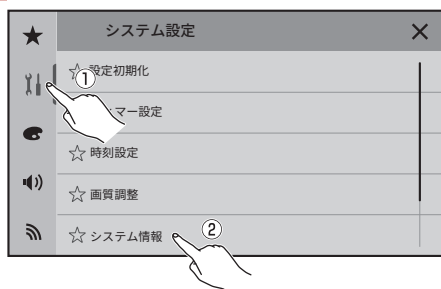
ご注意

- 更新作業中は、エンジンスイッチを OFF にしないでください。
- 走行中は操作できません。安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作をしてください。

1  をタッチする

2  にタッチする

3 、**システム情報**の順にタッチする



4 ファームウェアのバージョンアップ
ファイルを格納した USB 機器を、
USB ケーブル（付属）を使って接
続する

5 **ファームウェアバージョンアップ**に
タッチする

6 **はい**にタッチする

7 メッセージを確認後、**開始**にタッチ
する

ファームウェアの更新を開始します。
完了すると「アップデートが完了しました。」
と表示され、本機は再起動します。

外部機器を使用する／バージョンアップする

各種設定をする

設定画面では、さまざまな機能を設定できます。

ご注意

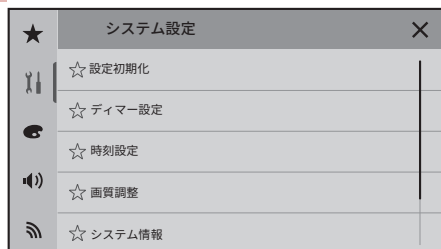
- パーキングブレーキが解除されている場合、一部機能は操作できません。安全な場所に車を停めて、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

設定画面の表示

1  をタッチする

2  にタッチする

3 設定したい項目にタッチする



★ (カスタムメニュー)

任意のメニュー項目を選択し、カスタムメニューとして登録できます。よく使うメニュー項目を登録すると便利です。カスタムメニューのタッチキーは各ソースの設定画面にも表示されますので、お好みの設定画面へのアクセスを短縮できます。

(システム設定)

以下に関する設定を行います。

音量設定、AV ソース設定、入力 / 出力設定、バックアイカメラ設定、映像信号設定、ステアリングリモコン設定、設定初期化、ディマー設定、時刻設定、画質調整、システム情報

(テーマ設定)

以下に関する設定を行います。

壁紙、イルミネーション、外観モード、オープニング画面設定

(オーディオ設定)

以下に関する設定を行います。

フェーダー／バランス、ラウドネス、オートサウンドレベライザー、ソースレベルアジャスター、サウンドレトリバー、スピーカー出力レベル、リスニングポジション、タイムアライメント、イコライザー、サブウーファー、カットオフ、バスブースト、リアスピーカー出力、ミュート設定、サブウーファー設定、設定値の保存、設定値の読出し

(通信設定)

以下に関する設定を行います。

機器登録／削除、Bluetooth 設定、Wi-Fi 設定、運転席位置、Android Auto 自動起動

各設定内容の詳細は、下記の2次元コードより、ユーザーズガイドをご覧ください。



4  にタッチする

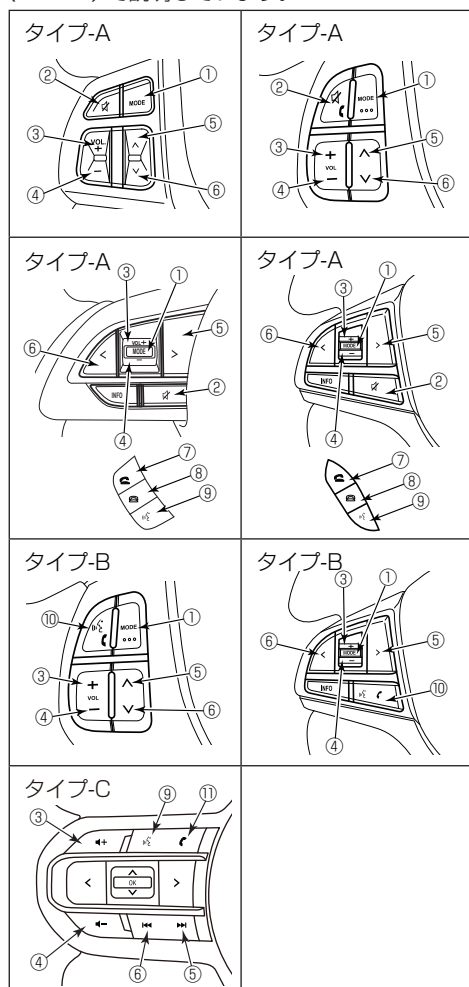
設定が終了します。

ステアリングオーディオスイッチの設定

ステアリングオーディオスイッチのタイプから選んで設定する簡単な方法と、学習機能を使ってプリセットと違う機能を登録する方法があります。簡単な方法で設定をするときは、事前にお客様のステアリングオーディオスイッチのタイプを後述の図で確認してから設定してください。

ステアリングオーディオスイッチのタイプ

図に書かれている丸数字は「各スイッチの機能」(→P33)で説明しています。

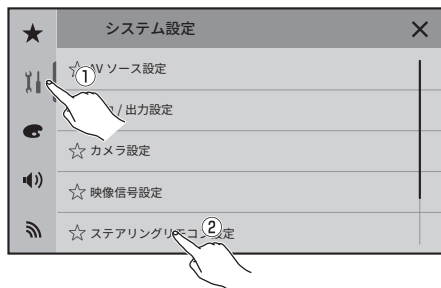


タイプから選んで設定する方法

1 をタッチする

2 にタッチする

3 、**ステアリングリモコン設定**の順にタッチする



4 **[タイプ-A]、[タイプ-B] または [タイプ-C]** にタッチする

・ステアリングオーディオスイッチを使用しない場合は、**オフ**を選択します。

設定される機能と機能の詳細は、「各スイッチの機能」(→P33)を参照してください。

5 にタッチする

6 ステアリングオーディオスイッチの各ボタンを押し、正しく動作することを確認する

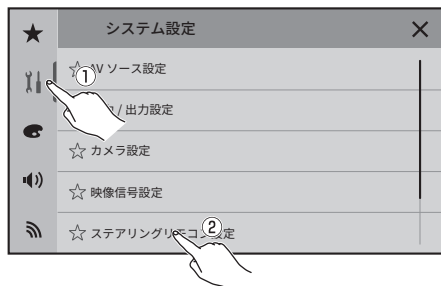
・走行中、運転の妨げにならないよう十分に注意してください。

学習機能を使って設定する方法

1  をタッチする

2  にタッチする

3 、**ステアリングリモコン設定**の順にタッチする



4 **学習、機能登録**の順にタッチする

車両のステアリングオーディオスイッチ登録画面が表示されます。

5 車両のステアリングオーディオスイッチに登録する機能にタッチする

登録できる機能と機能の詳細は、「各スイッチの機能」(→ P33) を参照してください。

6 機能を登録するステアリングオーディオスイッチのキーを長く押して離す

「ステアリングオーディオスイッチのタイプ」(→ P31) の図を参照して、登録するスイッチを選択します。

手順 5 で指定した機能が登録されます。

他の機能を登録する場合は、手順 5 ～ 6 を繰り返します。

- 一つのステアリングオーディオスイッチに一つの機能しか登録できません。

7  にタッチする

8 ステアリングオーディオスイッチの各ボタンを押し、正しく動作することを確認する

- 走行中、運転の妨げにならないよう十分に注意してください。

各スイッチの機能

ステアリングオーディオスイッチの各スイッチに登録されている機能について説明しています。

番号 : 図に掲載されている番号です。

➡「ステアリングオーディオスイッチのタイプ」(→ P31)

学習時キー名称 : 学習機能を使って機能を登録する場合に、機能を設定する画面で表示される機能名称です。

➡「学習機能を使って設定する方法」(→ P32)

動作する機能 : 登録された各スイッチを押すことにより動作する機能です。

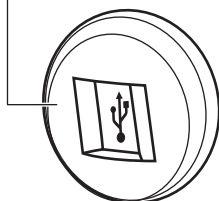
番号	学習時キー名称	動作する機能
①	AV Source	AV ソースを切りかえます。
②	ミュート	消音します。
③	Vol +	音量を大きくします。
④	Vol -	音量を小さくします。
⑤	Right	►の操作をします。
⑥	Left	◄の操作をします。
⑦	通話開始	受話の操作をします。
⑧	通話終了	通話中の電話を切ります。
⑨	音声認識	音声操作をします。
⑩	音声認識 & 通話開始 / 終了	着信中 / 発信中 / 通話中 : 通話を開始または終了します。 Apple CarPlay 中で着信中 / 発信中 / 通話中でないとき : Apple CarPlay の画面に切りかえます。 Android Auto 中で着信中 / 発信中 / 通話中でないとき : Android Auto の画面に切りかえます。 上記のどの状態でもないとき : 短く押すと、Siri が利用可能な iPhone が接続されているときは Siri を起動します。長く押すと、以前に接続した機器が接続機器リストにある場合は、接続機器リスト画面を表示します。以前に接続した機器が接続機器リストにない場合は、接続機器を検索できる画面を表示します。
⑪	通話開始 / 終了	通話を開始または終了します。
—	Up (学習時のみ使用)	▲の操作をします。
—	Down (学習時のみ使用)	▼の操作をします。
—	Band (学習時のみ使用)	バンドを切りかえます。
—	Mode (学習時のみ使用)	AV ソース画面と、Apple CarPlay、Android Auto または WebLink の画面とを切りかえます。
—	Phone (学習時のみ使用)	Phone メニューを表示します。
—	N/A (学習時のみ使用)	無効にしたいスイッチに対して設定します。

接続

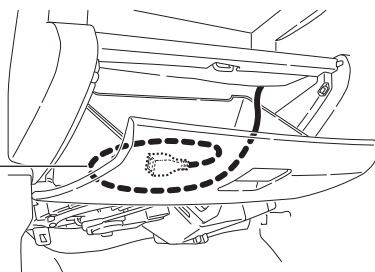
USB 接続ケーブルなどの取扱い方法

市販の USB メモリーは、オプションの USB ソケットか、グローブボックス内に収納されている USB 接続ケーブルに接続して、使用することができます。

オプションの USB ソケット

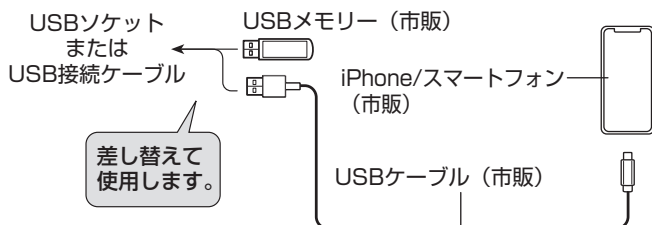


USB 接続ケーブル



オプションの USB ソケットをご利用の場合、USB 接続ケーブルはグローブボックス内に取り付けられておりません。

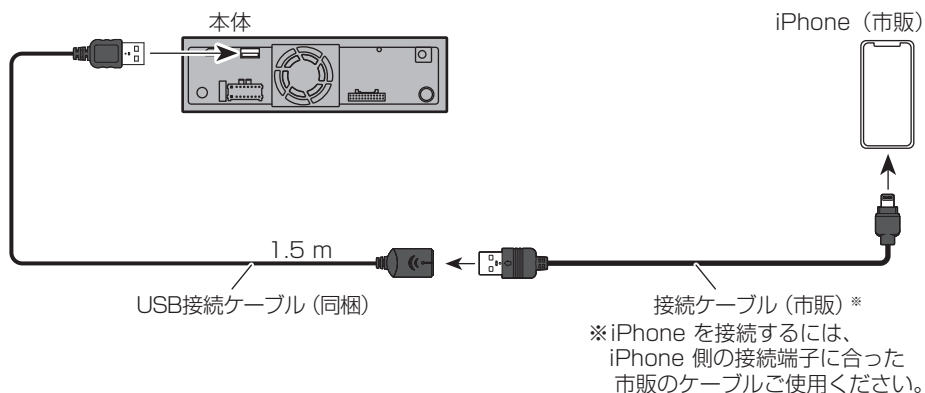
iPhone / スマートフォンをご利用になる場合は、市販の USB ケーブルと差し替えて使用してください。USB ケーブルは、車内に放置しないでください。



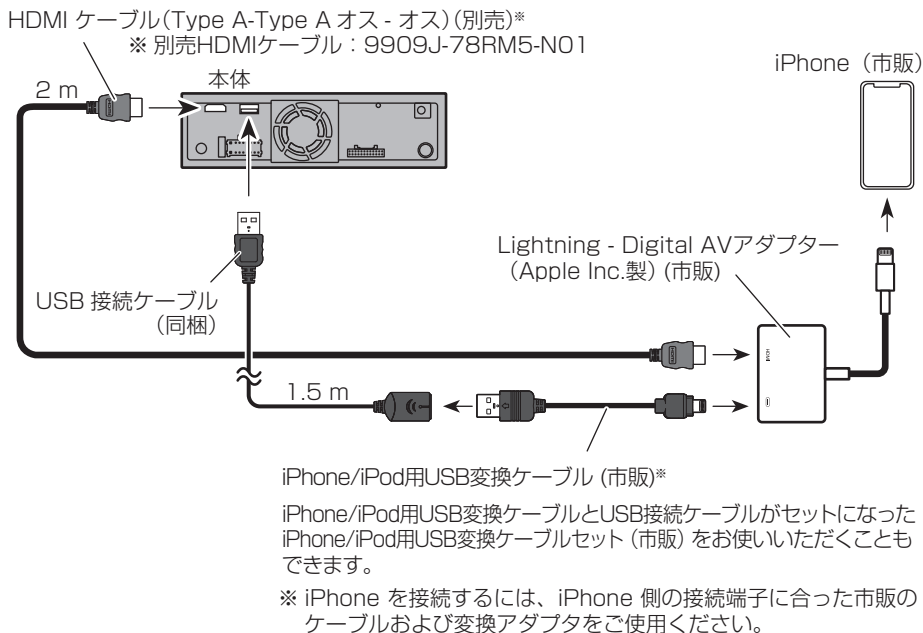
iPhone /スマートフォンの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

iPhone を USB 接続する場合



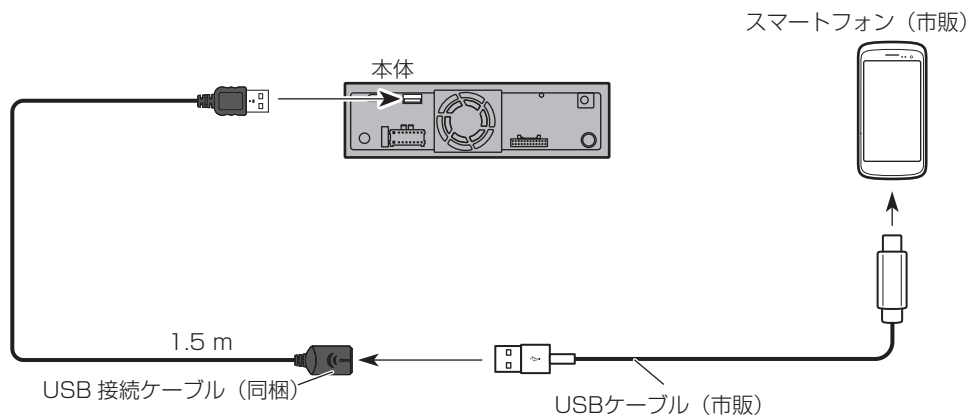
iPhone を HDMI 接続する場合



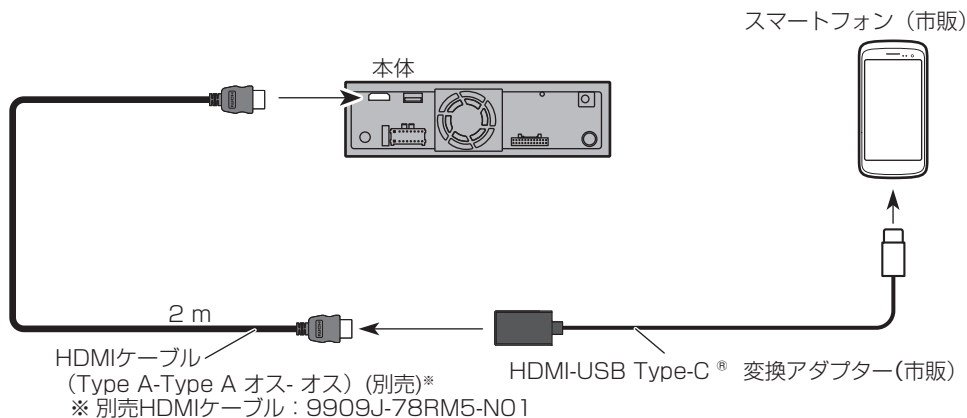
ご注意

- iPhone を HDMI 接続した場合、Apple CarPlay は利用できません。

スマートフォンを USB 接続する場合



スマートフォンを HDMI 接続する場合



ご注意

- スマートフォンを HDMI 接続した場合、Android Auto は利用できません。
- 接続するスマートフォンによっては、HDMI 出力に対応していない場合があります。

本機が対応する iPhone について

- 本機は以下の iPhone に対応しています。本機で確認済みの iPhone のモデルは次のとおりです。これ以前のモデルについては保証できません。

- iPhone 15 Pro Max
- iPhone 15 Pro
- iPhone 15 Plus
- iPhone 15
- iPhone 14 Pro Max
- iPhone 14 Pro
- iPhone 14 Plus
- iPhone 14
- iPhone SE (第3世代)
- iPhone 13 Pro Max
- iPhone 13 Pro
- iPhone 13
- iPhone 13 mini
- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE (第2世代)
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XR
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone X
- iPhone 8
- iPhone 8 Plus

- 最新の情報についてはサポートページ (<https://jpn.pioneer/ja/support/dop/suzuki/>) でご確認ください。



- 操作方法は、iPhone のモデルやソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
- iPhone を接続するには、iPhone 側の接続端子に合った市販のケーブルをご使用ください。

ご注意

- iPhone は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPhone を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPhone は必ず固定してください。iPhone が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPhone の取り扱いについて詳しくは、iPhone の説明書をお読みください。
- 本機と組み合わせて使用しているときに iPhone のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

USB 機器について

USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。

ご注意

- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーや USB メモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせで使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- 本機との接続について次のことにご注意ください。
 - USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外（USB 扇風機など）は接続しないでください。
 - USB 機器を本機に接続する際は、付属の USB 延長ケーブル以外は、使用しないでください。
 - 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
 - USB ハブを使用しての接続には対応していません。
- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

再生可能なメディアとファイルについて

本機では、次の条件に合ったファイルを再生することができます。

フォーマット	拡張子	対応メディア
		USB メモリー
MP3	.mp3	○
WMA	.wma	○
WAV	.wav	○
AAC	.m4a	○
FLAC	.flac	○
MPEG-4	.mp4 / .mkv / .mov / .avi / .m4v / .ts / .m2ts / .mts	○
MPEG-2	.mpg / .mpeg / .ts / .m2ts / .mts	○
H.264	.mp4 / .mkv / .mov / .flv / .avi / .m4v / .ts / .m2ts / .mts	○
H.263	.mp4 / .mov / .avi / .m4v / .3gp	○
VC-1	.wmv / .asf / .mkv	○
JPEG	.jpg / .jpeg / .jpe	○
PNG	.png	○
BMP	.bmp	○

共通

ファイルシステム：FAT16、FAT32、NTFS、
exFAT

最大フォルダー数：1 500

最大ファイル数：15 000

MP3（音声ファイル）

ビットレート：8 kbps ～ 320 kbps (CBR)
／ VBR

サンプリング周波数：8 kHz ～ 48 kHz

ID3 tag：Ver.1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4

ミュージックブラウザモード使用の
場合

Ver.2.2 / 2.3 / 2.4

WMA（音声ファイル）

ビットレート：8 kbps ～ 320 kbps (CBR)
／ VBR

サンプリング周波数：32 kHz ～ 48 kHz

WAV（音声ファイル）

シグナルフォーマット：リニア PCM (LPCM)

量子化ビット数：8bit / 16bit / 24bit /
32bit(intのみ)

サンプリング周波数：16 kHz ～ 192 kHz

- ファイルのサンプリング周波数が 48 kHz を超える場合は、本機側で 48 kHz にダウンコンバートして再生されます。

AAC（音声ファイル）

ビットレート：16 kbps ～ 320 kbps (CBR)
サンプリング周波数：8 kHz ～ 48 kHz

- ・「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
- ・iTunes でエンコードされた AAC ファイルを再生できます。

FLAC（音声ファイル）

量子化ビット数：8bit / 16bit / 24bit
サンプリング周波数：8 kHz ～ 192 kHz

- ・ファイルのサンプリング周波数が 48kHz を超える場合は、本機側で 48kHz にダウンコンバートして再生されます。

MPEG-4（動画ファイル）

最大解像度：1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート：30 fps
最大ビットレート：40 Mbps

MPEG-2（動画ファイル）

最大解像度：720 ピクセル × 576 ピクセル
最大フレームレート：30 fps
最大ビットレート：40 Mbps

H.264（動画ファイル）

最大解像度：1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート：30 fps
最大ビットレート：40 Mbps

H.263（動画ファイル）

最大解像度：1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート：30 fps
最大ビットレート：20 Mbps

VC-1（動画ファイル）

最大解像度：1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート：30 fps
最大ビットレート：45 Mbps

JPEG（静止画ファイル）

最大解像度：8 192 ピクセル × 7 680 ピクセル

- ・解像度が 8 192 ピクセル × 7 680 ピクセルまでのベースライン JPEG と、EXIF2.1 に対応しています（EXIF 形式は、デジタルカメラで一般的に使用されているファイル形式です）。

ご注意

- ・プログレッシブ JPEG の再生には対応していません。
- ・コンピューターで加工された EXIF ファイルは、再生できないことがあります。

PNG（静止画ファイル）

最大解像度：720 ピクセル × 576 ピクセル

BMP（静止画ファイル）

最大解像度：1 920 ピクセル × 936 ピクセル

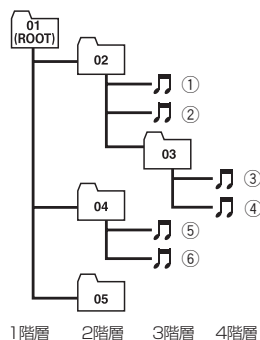
で注意

- ファイルをエンコードしたアプリによっては、正常に動作しないことがあります。
- ファイルをエンコードしたアプリによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります
- 本機で画像データを含む音楽ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- 本機は、以下の形式には対応していません。
 - Windows Media Audio Professional (5.1ch)
 - Windows Media Audio Lossless(可逆圧縮)
 - Windows Media Audio Voice
 - Apple ロスレス・エンコーダ
- ID3 tag の Ver.1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tag の Ver. 1.X と Ver.2.X が混在している場合は、Ver. 2.X が優先されます。ID3 tag の環境によっては正常に表示されない場合があります。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- iTunes Store で購入された音楽 (.m4p) は、USB 機器に記録して再生できません。
- 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- 2 GB を超える音楽ファイル、16 GB を超える動画ファイルは、再生しない場合があります。

- パーティションを作った USB メモリーは、再生可能な最初のパーティションだけを再生します。
- 本機では、最大で 8 時間までのファイルの表示に対応しています。

メディア内のフォルダー構成について

- メディア内のフォルダーと圧縮音源ファイルの構成は、下図のようになります (USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合は異なります)。



- 01 ~ 05 はフォルダー番号の割り当て、① ~ ⑥は曲の再生順の例です。お客様が本機を操作してフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、USB メモリーに書き込まれた順番になります。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 - コンピューターで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 - それらのファイルをフォルダーに入れる。
 - フォルダー単位でメディアにコピーする。
 - ただしコンピューターの環境によっては、この方法で指定できない場合もあります。
- 対応した音楽ファイルを含まないフォルダーは認識しません。フォルダーの番号を表示せず、スキップします。
- 8 階層までの音楽ファイルの再生に対応しています。ただし階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。

商標・著作権など

- 本機は、電波法に基づく工事設計認証を取得しています。



007-AP0021

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パイオニア株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

- Microsoft、Windows Media は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

- This Product uses the Source Code of T-Kernel 2.0 under T-License 2.2 granted by TRON Forum (www.tron.org).

- Google、Android、YouTube、Android Auto は Google LLC の商標です。

- Apple CarPlay、Apple、iPhone、iPod、iTunes、Lightning および Siri は米国、他の国々および地域で登録された Apple Inc. の商標です。日本における iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

- Apple は、本製品の機能や安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

- このアクセサリを Apple 製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意下さい。

- Apple CarPlay ロゴの使用は、車両のユーザーインターフェースが、Apple が定める性能基準を満たしていることを示します。Apple は、車両の操作や安全および規制基準への準拠について一切の責任を負いません。本製品を iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意下さい。

- Siri はマイクを通して機能します。

- IOS は米国その他の国における Cisco の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

- WebLink® は、Abalta Technologies, Inc. の登録商標です。

WebLink® でアクセスしたコンテンツや機能については、アプリやコンテンツの提供者の責任であり、この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

WebLink® でアクセスした当社以外のコンテンツやサービスの提供は予告なく変更または中止されることがあります。

- WebLink® Cast は、Abalta Technologies, Inc. の商標です。

- 「VICS」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

- USB Type-C® と USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

索引

記号

+ / - (音量) ボタン 11,21,23,26

アルファベット

A

A2DP 27
AAC 40
Android Auto™ を利用する 22
Android Auto 自動起動 23,30
Apple CarPlay を利用する 20
AUX 27
AVRCP 27
AV ソース設定 30
AV プロファイル 27

B

Bluetooth® の設定と接続 16
Bluetooth 機器を切りかえる 18
Bluetooth 機器を登録／接続する 16
Bluetooth 接続画面 11
Bluetooth 接続機器内の音楽再生 27
Bluetooth 設定 18,30
Bluetooth プロファイル 16
BMP 40
BSM 26

D

DRM 24

F

FLAC 40
FM/AM 26

H

H.263 40

H.264 40
HDMI 出力機器の映像／音声再生 28
HFP 17

I

iPhone /スマートフォンの接続 35
iPhone の接続 20

J

JPEG 40

M

MP3 39
MPEG-2 40
MPEG-4 40

P

Phone 画面 11
Phone メニュー 25
PNG 40

S

SPP 56

T

TI 11,26

U

USB 機器内の音楽／動画／静止画再生 27
USB で接続する 20,22

V

VC-1 40

W	
WAV.....	39
WebLink®.....	24
WebLink® Cast.....	24
WebLink® Host アプリ.....	24
Wi-Fi® の設定.....	19
Wi-Fi 設定.....	30
WMA.....	39

Y	
YouTube™.....	24

かな

あ	
アフターサービス.....	52

い	
イコライザー.....	30
イルミネーション.....	30

う	
運転席位置.....	21,30

え	
映像信号設定.....	30

お	
オーディオ設定.....	30
オートサウンドレベライザー.....	30
オーナーズリンク.....	59
オープニング画面設定.....	30
お客様登録.....	59
音声認識操作.....	11,25
音量設定.....	30
音量調節.....	21,23

か	
外観モード.....	30
外部機器.....	27
画質調整.....	30
カスタムメニュー.....	30
カットオフ.....	30
壁紙.....	30
画面.....	11

き	
機器登録／削除.....	16,17,18,30

こ	
更新.....	29
交通情報.....	11,26
故障かな？と思ったら.....	47
こんなメッセージが表示されたら.....	50

さ	
再生可能なメディアとファイル.....	39
サウンドレトリバー.....	30
サブウーファー.....	30
サブウーファー設定.....	30

し	
時刻設定.....	30
システム情報.....	29,30
システム設定.....	30
周波数.....	26
仕様.....	53
商標.....	42
ショートカットの利用.....	21

す	
スタンダードモード.....	14
ステアリングリモコン設定.....	30
スピーカー出力レベル.....	30
スピーカーモード.....	14
スマートフォンの接続.....	22

せ

接続・取り付け部品の確認	34
設定画面	30
設定初期化	30
設定値の保存	30
設定値の読み出し	30

そ

ソースレベルアジャスター	30
ソフトウェア利用規約	57

た

タイムアライメント	30
-----------------	----

ち

著作権	42
-----------	----

つ

通信設定	30
通話履歴画面	11

て

ディマー設定	30
テーマ設定	30
電源の入れかた	14
電話	25
電話帳	25
電話番号	25

と

登録機器を削除する	17
-----------------	----

に

入力 / 出力設定	30
-----------------	----

ね

ネットワークモード	14
-----------------	----

は

バージョンアップ	29
バスブースト	30
バックアイカメラ設定	30
バックアイカメラ / 2nd カメラの映像表示	28
発着信履歴	25
ハンズフリー通話	25
バンド	26

ふ

ファームウェア	29
ファームウェア情報	29
ファームウェアのバージョン	29
ファームウェアバージョンアップ	29
フェーダー / バランス	30
フォルダー構成	41
プリセットダイヤル	25

ほ

放送局名	26
保証書	52, 59
本機が対応する iPhone	37

み

ミュート設定	30
--------------	----

め

免責事項	15
------------	----

ら

ラウドネス	30
ラジオ	26

り

リアスピーカー出力	30
リスニングポジション	30
リセット	46

わ

ワイヤレスで接続する	20, 22
------------------	--------

本体リセットのしかた

次のようなときは、本体をリセットしてください。

- 正しく動作しないとき。
- 画面が正しく表示されないとき。

1 とを5秒以上同時にタッチする

5秒以上経ってから離すと本機が再起動し、リセットを行います。

- 本体リセットを行っても、本機に登録されている内容や設定は消えません。

故障かな？と思ったら

故障かなと思ったら、修理を依頼される前に下表の内容をチェックしてください。
それでも直らないときは、「保証書とアフターサービス」(→P52)をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。 ヒューズが切れている。	お買い上げの販売店にご相談ください。 お買い上げの販売店にご相談ください。
電源を入れると、バックアイカメラの映像が表示される。 車のシフトレバーをバックに入れるとバックアイカメラの映像が消える。	バックアイカメラの極性が合っていない。	システム設定のバックアイカメラ極性設定を正しい設定にしてください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。 ミュートがONになっている。 前後の音量バランスの調節が適切でない。 接続が間違っている。	音量を調節してください(→P10)。 ミュートを解除してください(→P10)。 正しく調節してください。 お買い上げの販売店にご相談ください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。 パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。
Ⓖ(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	キー操作が無効な操作をしている。	この操作はできません。
音や映像が途切れる。	本機が確実に固定されていない。	本機を確実に固定してください。
画像の一部が隠れる、画面が伸びる、アスペクト比が合わない。	ディスプレイに対しての設定が正しくない。	ディスプレイに合った設定にしてください。

ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、「ジージー、ザーザー」という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。
	周りに障害物があるなど、受信状態がよくない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。
ラジオが受信できない。 FMは受信するが、AMが受信できない。	アンテナコントロールが接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
受信感度が悪い。	自動車のアンテナがのびていない。	アンテナを確実に伸ばしてください。

USB 機器

症状	原因	処置
USB 機器を認識しない。	接続するケーブルが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ファイルを再生できない。	再生できないファイルです。	対応フォーマットを確認してください (→ P39)。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたファイルを使用してください (→ P39)。
聴きたいファイルが見つからない。	ファイルに正しい拡張子が付いていない。	ファイルに正しい拡張子を付けてください (→ P39)。

iPhone (USB / HDMI 接続) / スマートフォン (USB / HDMI 接続)

症状	原因	処置
再生できない。	接続ケーブルが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
		iPhone/ スマートフォンをアダプター等を使用して HDMI 接続している場合は、アダプターを iPhone/ スマートフォンから一度外して、もう一度接続してください。
	本機で対応していない iPhone / スマートフォンを使用している。	本機で対応している iPhone を使用してください (→ P37)。 Android 11.0 以降のスマートフォンをお使いください。

Bluetooth (iPhone /スマートフォン含む)

症状	原因	処置
Bluetooth 接続ができない。	Bluetooth 機器登録をしていない。 接続する機器を変えた。	接続したい機器を本機に機器登録してください。 接続したい機器に切りかえてください。
音が出ない、音が小さい。	Bluetooth Audio 機器側の音量が小さい。	Bluetooth Audio 機器側の音量を上げてください。
ハンズフリー通話ができるが、アプリ機能が使えない。	Bluetooth 機器が正しく動作していない。	Bluetooth 機器の Bluetooth 通信機能を OFF → ON してください。それでも正常にならない場合は、Bluetooth 機器を再起動してください。
ハンズフリー通話ができない。	Bluetooth 機器が認識されていない。	車のエンジンスイッチを OFF → ON (ACC OFF → ON) してください。 接続ができない登録済みの機器を削除し、もう一度登録・接続を行ってください。
接続中の Bluetooth Audio 機器との接続が一時的に中断する。	Bluetooth 機器が正しく動作していない。	以下を試してください。自動的に再接続を行います。 AV ソースを切りかえる ACC を OFF / ON にする

WebLink®

症状	原因	処置
音が出ない	接続したい機器の Bluetooth 接続がされていない。	接続したい機器を本機に Bluetooth 接続してください (→ P16)。

こんなメッセージが表示されたら

共通項目

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処置
AMP Error	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	お買い上げの販売店にご相談ください。
Product overheat. System will be shut down automatically in 15 seconds.Restart the product by ACC-Off/On may fix this problem. If this message keeps showing up, it is possible that some problem occurred in the product.	本機の温度が高くなっているとき。	本機の温度が下がるまで、エンジンスイッチを OFF (ACC オフ) にしてください。
SOS	車両側の緊急通報装置が作動して E-call モードになったとき。	E-call モードが解除されるまでは操作できません。詳細は「E-call モード」(→P10) を参照してください。

USB 機器

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処置
再生できないファイルです	ファイルが本機で再生できないとき。	本機で再生できるファイルに切りかえてください。
	曲が入っていないとき。	オーディオファイルを USB 機器に転送し、本機に接続してください。
	セキュリティ機能付きの USB 機器を接続したとき。	USB 機器の説明書にしたがって、セキュリティを解除してから使用してください。
フォーマット読み込み中	再生操作を行ってから再生が開始するまでに時間がかかるとき。	メッセージが消え、再生が開始されるまでしばらくお待ちください。
再生できない USB です	接続された USB 機器が本機に対応していないとき。	USB Mass Storage Class 対応の、USB ポータブルオーディオプレーヤーや USB 機器を接続してください。
	接続された USB 機器のフォーマットが、FAT16、FAT32、NTFS、exFAT でないとき。	フォーマットが FAT16、FAT32、NTFS、exFAT の USB 機器を接続してください。

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処置
USBを確認してください	USB コネクタまたは USB 延長ケーブルがショートしたとき。	USB コネクタまたは USB 延長ケーブルが破損していないか確認してください。
	規定以上の電流を消費する USB 機器を接続したとき。	接続した USB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にしてください。次に、対応する USB 機器を接続してください。
再生できない音声です	音声フォーマットが本機に対応していないとき。	本機で再生できるファイルに切りかえてください。
作成されたデータベースが無効です	データベース構築中に、ビデオメディアや JPEG 画像表示に切りかえたとき。	もう一度データベースを作成してください。

iPhone (USB / HDMI 接続)

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処置
iPhone との通信で問題が発生しました。 再接続してください。	正常に通信できないとき。	コネクタを一度外し、iPhone のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでも iPhone が正常に動作しない場合は、iPhone をリセットしてください。
	iPhone に問題が発生したとき。	コネクタを一度外し、iPhone のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでも iPhone が正常に動作しない場合は、iPhone をリセットしてください。
停止	曲が入っていないとき。	iPhone に曲を転送し、本機に接続してください。

スマートフォン (USB / HDMI 接続)

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処置
停止	曲が入っていないとき。	スマートフォンに曲を転送し、本機に接続してください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お取り付けした日から3年間（期間内でも走行距離が6万kmまで）です。

修理について

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

共通部

使用電源：

DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式：

マイナスアース方式

最大消費電流：

10 A

外形寸法：

本体取付寸法：

178 (W) mm × 50 (H) mm × 161 (D) mm

ディスプレイ寸法：

190 (W) mm × 121 (H) mm × 9.5 (D) mm

質量 (コード含まず)：

1.4 kg

ディスプレイ部

画面サイズ：

8.0 型ワイドディスプレイ

アスペクト比：

16 : 9

有効表示面積：

176.64 mm × 99.36 mm

画素数：

1 280 (水平) × 720 (垂直) × 3 (RGB)

方式：

TFT アクティブマトリクス方式

カラーシステム：

PAL / NTSC / PAL-M / PAL-N / SECAM

使用温度範囲：

- 10 °C ~ + 60 °C

アンプ／オーディオ部

最大出力：

50 W × 4 ch

50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch / 2 Ω
(サブウーファー使用時)

定格出力：

22 W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz、5 %
THD、4 Ω LOAD、Both Channels Driven)

負荷インピーダンス：

4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω (2 Ω × 1 ch) 使用可能)

プリアウト最大出力：

4.0 V

イコライザー (13 バンドグラフィックイコライザー)：

周波数：

50 Hz / 80 Hz / 125 Hz / 200 Hz /
315 Hz / 500 Hz / 800 Hz / 1.25 kHz
/ 2 kHz / 3.15 kHz / 5 kHz / 8 kHz /
12.5 kHz

調整幅：

± 12 dB (2 dB / step)

< スタンダードモード >

ハイパスフィルター：

ON / OFF

周波数：

25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz /
63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz /
160 Hz / 200 Hz / 250 Hz

スロープ：

- 6 dB / oct、- 12 dB / oct、- 18 dB
/ oct、- 24 dB / oct

ローパスフィルター (サブウーファー)：

ON / OFF

周波数：

25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz /
63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz /
160 Hz / 200 Hz / 250 Hz

スロープ：

- 6 dB / oct、- 12 dB / oct、- 18 dB
/ oct、- 24 dB / oct、- 30 dB / oct、
- 36 dB / oct

位相：

NORMAL / REVERSE

スピーカーレベル：

- 24 dB ~ +10 dB (1 dB / step)

タイムアライメント：

0 ~ 350 cm (1.4 cm / step)

< ネットワークモード >

ハイパスフィルター (HIGH)：

周波数：

1.25 kHz / 1.6 kHz / 2 kHz / 2.5 kHz
/ 3.15 kHz / 4 kHz / 5 kHz / 6.3 kHz
/ 8 kHz / 10 kHz / 12.5 kHz

スロープ：

- 6 dB / oct、 - 12 dB / oct、 - 18 dB
/ oct、 - 24 dB / oct

位相 (HIGH)：

NORMAL / REVERSE

ハイパスフィルター (MID)：

ON / OFF

周波数：

25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz /
63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz /
160 Hz / 200 Hz / 250 Hz

スロープ：

- 6 dB / oct、 - 12 dB / oct、 - 18 dB
/ oct、 - 24 dB / oct

ローパスフィルター (MID)：

ON / OFF

周波数：

1.25 kHz / 1.6 kHz / 2 kHz / 2.5 kHz
/ 3.15 kHz / 4 kHz / 5 kHz / 6.3 kHz
/ 8 kHz / 10 kHz / 12.5 kHz

スロープ：

- 6 dB / oct、 - 12 dB / oct、 - 18 dB
/ oct、 - 24 dB / oct

位相 (MID)：

NORMAL / REVERSE

ローパスフィルター (サブウーファー)：

ON / OFF

周波数：

25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz /
63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz /
160 Hz / 200 Hz / 250 Hz

スロープ：

- 6 dB / oct、 - 12 dB / oct、 - 18 dB

/ oct、 - 24 dB / oct、 - 30 dB / oct、
- 36 dB / oct

位相 (サブウーファー)：

NORMAL / REVERSE

スピーカーレベル：

- 24 dB ~ +10 dB (1 dB / step)

タイムアライメント：

0 ~ 350 cm (1.4 cm / step)

HDMI 部

入力部：

1 系統 (Type A)

USB 部

USB 規格：

USB 1.1、USB 2.0 Full Speed

USB 2.0 High Speed

最大供給電流：

1.5 A (Type A)

USB クラス：

MSC (Mass Storage Class)

ファイルシステム：

FAT16、FAT32、NTFS、exFAT

< オーディオ >

MP3 デコーディングフォーマット：

MPEG-1 & MPEG-2 & MPEG-2.5 AUDIO
LAYER-3

WMA デコーディングフォーマット：

Ver. 9.2 Profile L1

AAC デコーディングフォーマット：

AAC-LC (Low Complexity)

FLAC デコーディングフォーマット：

V1.3.0

サンプリング周波数：

8 kHz ~ 192 kHz

WAVE シグナルフォーマット:

Linear PCM

サンプリング周波数:

16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz
/ 44.1 kHz / 48 kHz / 96 kHz /
192 kHz

<フォト>

JPEG デコーディングフォーマット:

jpeg、jpg、jpe

ピクセルサンプリング:

4:2:2、4:2:0

デコードサイズ:

最大: 7 680 (H) × 8 192 (W)

最小: 32 (H) × 32 (W)

PNG デコーディングフォーマット:

png

デコードサイズ:

最大: 576 (H) × 720 (W)

最小: 32 (H) × 32 (W)

BMP デコーディングフォーマット:

bmp

デコードサイズ:

最大: 936 (H) × 1 920 (W)

最小: 32 (H) × 32 (W)

<ビデオ>

AVI:

Video codec:

MPEG4、H.264、H.263

Audio codec:

LPCM、MP3

MPEG-PS:

Video codec:

MPEG2

Audio codec:

LPCM、MP3

MP4:

Video codec:

MPEG4、H.264、H.263

Audio codec:

LPCM、MP3、AAC

3GP:

Video codec:

H.263

Audio codec:

AAC

MKV:

Video codec:

MPEG4、H.264、VC-1

Audio codec:

LPCM、MP3、AAC、vorbis

MOV:

Video codec:

MPEG4、H.264、H.263

Audio codec:

LPCM、MP3、AAC

ASF:

Video codec:

VC-1

Audio codec:

WMA、LPCM、MP3

FLV:

Video codec:

H.264

Audio codec:

MP3、AAC

M4V:

Video codec:

MPEG4、H.264、H.263

Audio codec:

LPCM、MP3、AAC

MPEG-TS:

Video codec:

MPEG4、H.264、MPEG2

Audio codec:

MP3、AAC

FM チューナー部

受信周波数帯域:

76.0 MHz ~ 99.0 MHz

AM チューナー部

受信周波数帯域:

522 kHz ~ 1 629 kHz

Bluetooth 部

Bluetooth バージョン :

Bluetooth 5.2 certified

出力 :

最大 +4 dBm (Power class 2)

Bluetooth Low Energy 出力 :

最大 + 5 dBm

周波数帯域 :

2 402 MHz ~ 2 480 MHz

プロファイル :

HFP (Hands Free Profile) 1.7.2

PBAP (Phone Book Access Profile) 1.2.3

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) 1.3.2

AVRCP (Audio / Video Remote Control Profile) 1.6.2

SPP (Serial Port Profile) 1.2

AVCTP (Audio / Video Control Transport Protocol) 1.4

AVDTP (Audio / Video Distribution Transport Protocol) 1.3

DIP (Device ID Profile) 1.3

GAVDP (Generic Audio / Video Distribution Profile) 1.3

IOP (Interoperability Test Specification)

OPP (Object Push Profile) 1.2.1

RFCOMM (RFCOMM with TS 07.10) 1.2

GPS 部

受信方式 :

92 チャンネルマルチチャンネル受信方式

アンテナサイズ :

33 mm (W) × 14.7 mm (H) × 36 mm (D)

ご注意

- 本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載しているイラストと実物が、一部異なる場合があります。

Wi-Fi 部

対応規格 :

IEEE 802.11 a/n/ac (5 GHz)

対応チャンネル :

36 ch (5 GHz)

出力 :

最大 + 13 dBm (5 GHz)

セキュリティ方式 :

WPA2 (Personal) / WPA3 (Personal)

ソフトウェア利用約款

最終更新日：2025年4月1日

「ソフトウェア利用規約」（以下「本規約」といいます。）は、バイオニア株式会社（以下「当社」といいます。）が提供する本ソフトウェア（第1条に定義します。）の使用に適用されます。利用者が本規約に同意し、本ソフトウェアを使用した場合、利用者との間で本規約を内容とする契約（以下「本契約」といいます。）が成立します。

第1条（定義）

- (1) 「本ソフトウェア」とは、本製品のためにのみ使用されることを条件に当社から利用者に対して使用許諾される、本製品向けソフトウェア（本製品にプリインストールされたファームウェア及びそのアップデート版を含みます。）をいいます。
- (2) 「本製品」とは、本ソフトウェアがライセンスされる、当社製のディスプレイオーディオ製品をいいます。
- (3) 「利用者」とは、本規約に同意のうえ、本ソフトウェアの使用を開始した個人又は法人をいいます。

第2条（本規約の適用）

本規約は、本ソフトウェアの使用許諾条件及び本ソフトウェアに関する当社と利用者との間の権利義務関係を定めることを目的とし、当社と利用者との間の本ソフトウェアの使用に係る一切の関係に適用されます。

第3条（使用許諾）

当社は、利用者が本規約に同意し、本規約に定める条項を遵守することを条件として、本製品と併用する範囲において、本製品にプリインストールされた本ソフトウェアの使用及び本ソフトウェアのアップデート版を当社サーバーからダウンロードのうえ本製品にインストールし使用することができる限定的、非独占的、譲渡不能かつ無償の日本国内における使用权を利用者に対して許諾します。

第4条（権利の帰属）

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社及び当該権利を有する第三者に帰属するものとします。本規約による利用者への使用許諾は、利用者に対する権利譲渡を意味するものではありません。

第5条（ダウンロード環境の準備）

1. 本ソフトウェアをアップデートするためには、利用者の責任と費用において、本製品と、当社サーバーから本ソフトウェアをダウンロードするためのパソコンと、そのインターネット接続環境をご用意いただく必要があります。
2. 利用者は、本ソフトウェアのダウンロード前に、予め本製品の型番を確認し、本ソフトウェアと適合するものであるか確認するものとします。利用者は、本ソフトウェアと適合しない本製品に本ソフトウェアをダウンロードすることが、本製品の動作不良の原因となる場合があることを予め了承するものとします。

第6条（禁止事項）

利用者は、本ソフトウェアの使用にあたり、以下の行為を行うことはできません。

- (1) 当社又は第三者が保有する権利を侵害する行為
- (2) 当社又は第三者に不利益もしくは損害を与える行為
- (3) 他の利用者又はその他の第三者のプライバシーを侵害する行為
- (4) 公序良俗に反する行為
- (5) 法令に違反する行為
- (6) 本ソフトウェアの全部又は一部を複製、翻案、改修、改変等する行為

- (7) 本ソフトウェアに対して、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等を加える行為
- (8) 本ソフトウェアを第三者に頒布、譲渡、貸与、送信し、又は本ソフトウェアの使用を再許諾する行為
- (9) 本ソフトウェアにおける権利表示や商標を削除又は変更する行為
- (10) その他、前各号に準ずる合理的な根拠に基づき当社が不適切と合理的に判断する行為

第7条（免責）

1. 本ソフトウェアは「現状有姿」で提供され、本規約に明示的に規定される場合を除き、いかなる保証（品質、目的への適合性又は記述との整合性に係る一切の黙示的な保証を含みます。）も適用されません。前段の一般性を限定することなく、明示的であると黙示的であると問わず、下記は保証されません：
 - (1) 本ソフトウェアの正確性、完全性、有用性、可用性及び最新性
 - (2) 利用者による本ソフトウェアの使用が中断なくあるいはエラーを生じずに行われること
 - (3) 本ソフトウェアが利用者の要求に合致していること
 - (4) 本ソフトウェアが、利用者が使用する機器で動作すること
 - (5) 本ソフトウェアが第三者の著作権その他の知的財産権を侵害していないこと
2. 本ソフトウェアの使用により利用者及び第三者に生じた一切の損害に対する当社の損害賠償責任は、当該損害が当社の故意又は重過失による場合を除き、いかなる場合にも、利用者に直接かつ現実が生じた通常損害に限定され、利用者が購入した本製品の購入代金を上限とします。
3. 当社は、理由の如何を問わず、利用者が本ソフトウェアを使用できなかったことに起因して利用者が生じたいかなる損害（逸失利益、ビジネスの中断などによる損害を含みますが、これらに限られません。）について、一切の責任を負わないものとします。
4. 利用者は、本ソフトウェアの使用に関して第三者との間で紛争が生じた場合には、当該紛争を自らの責任と費用で解決するものとします。

第8条（アップデート）

1. 利用者は、本ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で本ソフトウェアがアップデートされる場合があることに同意するものとします。
2. 利用者は、本ソフトウェアのアップデートに伴い、本ソフトウェアの機能が追加、変更又は削除される場合があることに同意するものとします。
3. 利用者は、アップデートされた本ソフトウェアについても本契約の各条項が適用されることに同意するものとします。

第9条（本契約の解除）

1. 当社は、以下の事項のいずれかに該当し、又は当社が該当すると判断する場合は、利用者に事前に通知することなく、本契約の一部又は全部を解除することができるものとします。
 - (1) 利用者が本規約に違反した、又は違反するおそれのある利用その他通常の利用から逸脱した利用が確認された場合
 - (2) 利用者が未成年者等の制限行為能力者であり、親権者など法定代理人の同意を得ずに本ソフトウェアを使用している場合
 - (3) 利用者が暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係者、総会屋その他の反社会的勢力に属しており、又はこれらのものと密接な関係を有している場合

付
録

- (4) 当社が合理的な理由に基づき、本契約の継続が適当でないとして判断した場合
- (5) その他、当社が必要だと判断した場合
- 2. 当社は、前項に基づき当社が行った措置に起因して利用者又は他の第三者に生じた損害について一切の責任を負わないものとします。
- 3. 本契約が終了した場合、利用者は本ソフトウェアの使用を直ちに停止し、本ソフトウェアを直ちに廃棄するか、又は当社に返還するものとします。

第 10 条（本規約の変更）

- 1. 当社は本規約を変更することができます。この場合、当社は、本規約を変更する旨、変更後の規約の内容及び変更の効力の発生時期を、事前に当社が適当と考える手段により周知するものとします。
- 2. 変更の効力発生後に利用者が本ソフトウェアを利用した場合には、当社は利用者が当該変更に同意したとみなします。

第 11 条（権利義務の譲渡禁止）

利用者は、本ソフトウェアを使用する権利その他の本契約から生じる権利及び義務を、第三者に譲渡又は移転してはなりません。当社は本契約又は本契約上の当社の一切の権利もしくは義務を自由に譲渡、移転又は承継することができます。

第 12 条（分離可能性）

本規約のいずれかの条項又はその一部が、法令等により無効又は執行不能と判断された場合であっても、本規約の残りの規定及び一部が無効又は執行不能と判断された条項の残りの部分は、なお完全にその効力を有するものとします。

第 13 条（輸出規制法令の遵守）

- 1. 利用者は、日本国及び米国の法律で認められている以外の方法で、本ソフトウェア及びそれに関連したドキュメントを利用、輸出、再輸出することはできません。特に、以下のいずれの者（これらに限りません。）に対して本ソフトウェア及びそれに関連したドキュメントを輸出又は再輸出することはできません。
 - (1) 日本国及び米国が禁輸措置を命令している国
 - (2) 米国財務省が特別にしている国民・個人リスト及び米国商務省の懸念顧客リストに記載されている宛先
- 2. 利用者は当社に対して、本ソフトウェア及びそれに関連するドキュメントを利用することにより、前項第 1 号に該当する国に在住していないこと、前項第 2 号のリストに掲載されていないことを表明し、保証するものとします。また、利用者は核兵器、ミサイル、化学兵器、生物兵器又は通常兵器の開発、設計、製造、生産する目的、又は米国の法律で禁止されている目的で本ソフトウェア及びそれに関連するドキュメントを利用しないことに同意したものとします。

第 14 条（準拠法・管轄裁判所）

- 1. 本契約の準拠法は日本法とし、日本国法に従って解釈されるものとします。
- 2. 当社と利用者との間で生じた本契約に関する紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

【改定履歴】

2025 年 4 月 1 日：初版発行

お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。

登録は弊社ホームページ「オーナーズリンク」にて可能です。以下 URL にアクセスして登録を行ってください。

<https://car-users.pioneer.jp/>



なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をしていただいたお客様にいたします。

必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話からは、IP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただく場合がございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

■お客様サポートサイト

<https://jpn.pioneer/ja/support/>



■商品についてよくあるお問い合わせ(FAQ)

<https://faq.jpn.pioneer/s/>



■電話

《カーオーディオ、カーナビゲーション商品》※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください

【固定電話から】 **0120-944-111** (無料)

【携帯電話から】 **050-3097-9332** (IP電話・有料)

※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております

■ファックス **0120-105-680** (無料)

令和7年1月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.13

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2025

< KWSZ25D > < CRA5511-A >